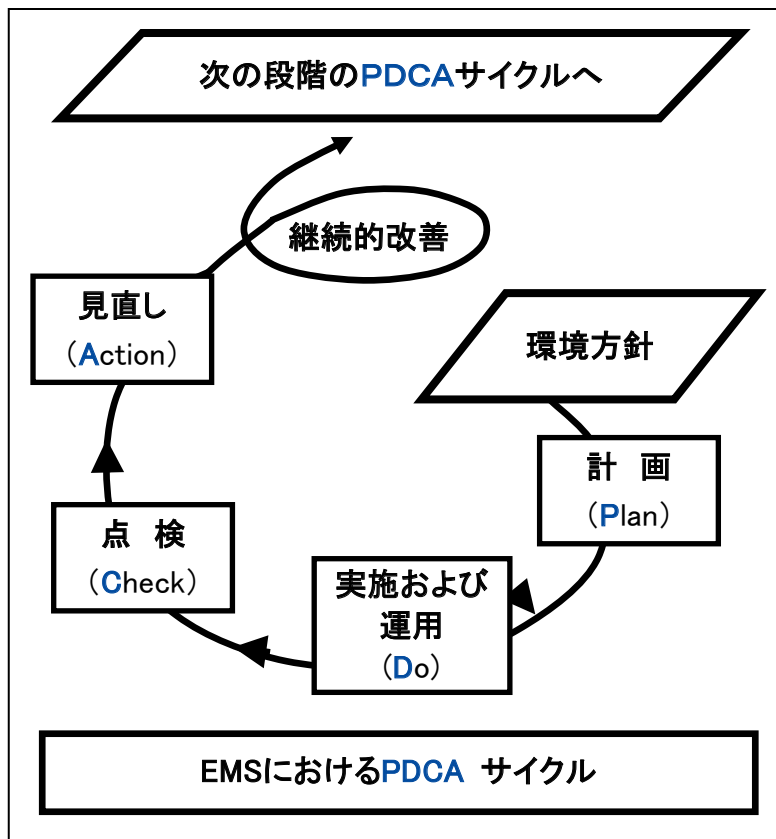


第4項 区の事務事業における環境配慮行動の推進

(1) 環境配慮の推進



区は、区の事務事業の中で、地球温暖化防止をはじめとする環境課題の解決に向けて取り組んでいかなければなりません。

そのためには、区は率先して温室効果ガスの削減に取り組むほか環境に配慮した活動を推進することが必要であり、それを継続的に改善していく仕組みが欠かせません。環境マネジメントシステム（EMS）とは、企業や自治体等の組織が運営や経営の中で、自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、目標達成に向けた取組を継続的

に進めるための仕組みをいい、PDCA サイクル（Plan（計画）、Do（実施および運用）、Check（点検）および Action（見直し））からなります。

区は、平成 13 年 2 月に練馬区環境基本方針を定め、平成 13 年度から環境マネジメントシステムを区長部局において運用開始し、世界共通の規格である ISO 14001 を認証取得しました。

その後、平成 16 年度からは ISO 14001 の認証適用範囲を区立小中学校・幼稚園にも拡大して、指定管理者制度を適用した施設（以下「指定管理者施設」）を除く全施設を適用範囲として運用してきました。

ISO14001 認証取得後 9 年間の取組の中で、職員の意識改革が図られ、目標管理の仕組みが仕事の中に定着したことにより、EMS は一定の成果が得られました。

そこで、平成 23 年 3 月、ISO14001 によらない練馬区独自の環境管理を行うために区の環境マネジメント全体を体系化し、新たに運用を統括する「練馬区環境マネジメントシステム（ねりまエコプラン）」を制定し、その適用範囲は、指定管理者施設を含む全施設としました。

平成 23 年度から区は、「練馬区環境マネジメントシステム（ねりまエコプラン）」に基づいた環境管理体系により、環境への負荷を低減し、環境法令を順守するとともに、事務事業のなかで環境に良い活動を推進することで、環境課題の解決に向けて取り組んでいます。

(2) 平成 23 年度の取組の概要

平成 23 年練馬区節電実施計画

東日本大震災以降、電力供給量は大きく減少するなか、夏期の電力需給ギャップに対応するため、平成 23 年 7～9 月を期間とする「平成 23 年練馬区節電実施計画」を策定しました。326 ある区立施設を施設の特徴により 6 つのグループに分け、23～12%の節電目標を設定し、取組を行いました。

この結果、練馬庁舎におけるタスクライトの使用など各施設の取組の結果、目標を大きく上回る 23.7%の節電を達成しました。

練馬区環境管理実行計画

節電対策に加え、練馬区環境マネジメントシステムの省エネルギー活動分野の計画である、「練馬区環境管理実行計画」に基づき取組を行ったことにより、平成 23 年度は、電気以外の項目についても使用量を削減し、温室効果ガス排出量を大幅に削減することができました。

● 取組項目と個別目標

取組項目	基準年 (平成 21 年度) 使用量	平成 23 年度 使用量	目標 (平成 26 年度) 使用量
電気使用量(kWh)	81,130,646	67,330,043	77,885,420
都市ガス使用量(m ³)	4,754,282	4,564,007	4,564,111
LPG使用量(kg)	49,628	21,319	47,643
重油使用量(ℓ)	405,044	415,091	388,842
灯油使用量(ℓ)	4,071	4,944	3,908
地域冷暖房熱使用量(MJ)	29,678,752	15,457,921	21 年度値を上限
自動車燃料使用量 (ガソリン換算値) (ℓ)	282,758	244,121	271,448
水道使用量(m ³)	1,634,837	1,597,875	21 年度値を上限
用紙使用量(A4換算値)(枚)	— ※	105,573,660	23 年度値を上限
廃棄物排出量(t)	3,241	2,078	21 年度値を上限

※ 平成 21 年度においては、指定管理者施設を含めた用紙使用量は計測していません。

● 温室効果ガス排出量の目標と実績

取組項目	基準年 (平成 21 年度)	実績 (平成 23 年度)	目標 (平成 26 年度)
温室効果ガス排出量 (CO ₂ -t)	46,240	41,043	44,391

練馬区環境方針

(基本理念)

練馬区は、みどり豊かな環境にやさしいまちをつくるために、みどりと水辺を保全し、自然や生き物と共生できる環境の創出を目指します。また、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済システムと生活様式を見直し、ごみの発生抑制やリサイクルの推進を通じて循環型社会を形成し、足元から地球環境の保全に貢献します。

このかけがえのない練馬区の環境を次の世代へと引き継いでいくためには、区民、事業者、区が連携して、環境を大切にする文化を育むとともに、環境を保全するための仕組みをつくること、何よりも大切です。

そのために、区は、以下の基本方針に則り、長期計画ならびに環境基本条例や環境基本計画に基づく施策を率先して推進します。

(基本方針)

1 率先して環境への負荷を減らします。

- (1) 区政の効率化に努め、事務事業に伴う環境への負荷を低減します。
- (2) 環境法令を遵守し、環境汚染の未然防止に努めます。
- (3) 区は、環境目的および目標を設定し、組織の全員が環境マネジメントシステムを推進するとともに、常に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2 みどりと共生できる生活都市を推進します。

- (1) みどりと水に恵まれた、美しいまちをつくります。
- (2) 環境汚染から区民の健康と生活環境を守ります。
- (3) 地球環境保全のための足元からの行動を広げます。

3 区民・事業者・区が連携した環境保全活動を推進します。

- (1) 環境にやさしいところを育み、環境にやさしい仕組みをつくります。
- (2) それぞれの役割や連携のあり方、取り組むべきことを明らかにし、環境保全を推進します。
- (3) 区の環境方針および環境マネジメントシステムによる成果は区職員全員に周知徹底するとともに区民・事業者を始め広く一般に公表します。

練馬区長 志村 豊志郎